J-FAIRNESS SYMPOSIUM 2026

# スポーツ×サプリメント×リテラシー 2026

スポーツ現場におけるサプリメントリテラシーを考える

DATE
**2026.10.17（Sat）**

TIME
**14:00–16:50**　オンライン配信

「自分が摂取するものに、自分で責任を持つ」――その一歩は、正しい知識から。

## サプリメントを、正しく理解する。

健康志向の高まりを背景にサプリメント市場は拡大を続け、いまやサプリメントは日常に深く浸透しており、トップアスリートの摂取率は８割を超えるとの調査結果もある。「自分が摂取するものに、自分で責任を持つ」――この原則を実践するには、まずサプリメントを正しく理解することが欠かせない。しかし、その定義や法的位置づけの曖昧さゆえに、現場での使用はアスリート個人の判断にまかされることが多く、常にリスクと隣り合わせの存在であり続けてきた。

2018年、国際オリンピック委員会（IOC）は「IOC consensus statement：dietary supplements and the high-performance athlete」を公開。国内でも2019年に日本陸上競技連盟が「サプリメント摂取の基本8ヶ条」を、2024年に日本スポーツ協会が「サプリメント利用・活用コンセンサス2024」を公開するなど、各団体で指針策定が進んでいる。

サプリメントをめぐる課題は、アスリート個人の判断だけで解決できるものではない。アスリートのリテラシー、競技団体等による情報提供体制、そして製品の品質と情報開示に責任を持つ企業の情報公開体制など、アスリート、スポーツ医・科学スタッフ、スポーツファーマシスト、競技団体、産業界など関係者が同じテーブルで課題を共有し、共通言語を持つことが不可欠である。本シンポジウムでは、各団体の指針を紹介し、現場における実態と課題を整理したうえで、アスリートに求められる知識・判断基準と企業に期待される情報提供のあり方を多角的に議論する。

| | |
|---|---|
| 主 催 | 一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構（J-Fairness）<br>一般財団法人日本スポーツ政策推進機構（NSPC） |
| 共 催 | 公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）、公益財団法人日本スポーツ協会（JSPO）<br>公益財団法人日本パラスポーツ協会パラリンピック委員会（JPSA・JPC）<br>公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA） |
| 協 力 | スポーツ庁、独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）、公益財団法人日本陸上競技連盟（JAAF）<br>一般社団法人日本臨床スポーツ医学会（JSCSM）、一般社団法人臨床スポーツ薬理学推進機構（ICSP） |
| 後 援 | 公益社団法人日本薬剤師会 |
| 対 象 | 国内競技団体等関係者、公認スポーツファーマシスト、サプリメントリテラシーに関心のある方 |

### シンポジウム参加登録（Zoomウェビナー）

本シンポジウムはZoomウェビナー（オンライン／事前登録制／参加無料）で開催します。参加希望の方は右記QRコードよりお申し込みください。

一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構（J-Fairness ）
〒160-0013　東京都新宿区霞ヶ丘町４−２　JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
E-mail : info@j-fairness.org

# J-FAIRNESS SYMPOSIUM 2026
programme

**2026.10.17（Sat）14:00–16:50**

**13:30　受付開始**

全体司会：池田めぐみ（J-Fairness理事）

**14:00　開会**

挨拶：河合純一（スポーツ庁長官／ビデオメッセージ）
挨拶：橋本聖子（JOC会長／ビデオメッセージ）
挨拶：遠藤利明（JSPO会長）
挨拶：三阪洋行（JPC委員長／ビデオメッセージ）

**スポーツにおけるサプリメントリテラシー**
河野一郎（J-Fairness代表理事、NSPC理事長）

**アスリートのためのサプリメントガイダンス（2026）の策定について**
渡部厚一（JOCアンチ・ドーピング専門部会）

**JSPOサプリメント利用・活用コンセンサスについて**
田中不二夫（JSPO副会長）

**陸上競技におけるサプリメントリテラシー　～「基本8か条」から次のステージへ～**
杉田正明（JAAF科学委員会委員長）

**アンチ・ドーピングとサプリメント**
浅川伸（JADA副会長、専務理事）

**スポーツファーマシストとサプリメントリテラシー**
関水康成（公認スポーツファーマシスト、JRFUアンチ・ドーピング委員会委員長）

**トータルコンディショニングにおけるサプリメントの位置づけ**
清水和弘（JSC／JISSスポーツ科学研究部門副主任研究員）

**15:30　— 休　憩 —**

**15:45　パネルディスカッション**

## スポーツ現場におけるサプリメントリテラシー

| | |
|---|---|
| スポーツ現場からのメッセージ | 谷本歩実（JOC理事、オリンピアン） |
| コーディネーター | 杉浦克己（立教大学特別専任教授） |
| パネリスト | 渡部厚一（JOC）、杉田正明（JAAF）、清水和弘（JSC／JISS）<br>関水康成（公認スポーツファーマシスト）<br>池田めぐみ（オリンピアン）、岡澤セオン（オリンピアン） |

**16:45　閉会挨拶**　田邉陽子（JADA会長）

一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構（J-Fairness ）
〒160-0013　東京都新宿区霞ヶ丘町４−２　JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
E-mail : info@j-fairness.org